



犬山警察署からのお便り

イヌピー通信



発行・編集
犬山扶桑防犯協会
犬山警察署生活安全課
連絡先 0568-61-0110
(協力 扶桑町)

令和8年3月発行 No.1

犬山警察署長の水野です。

皆様方には、平素から警察業務全般にわたり多大なるご支援とご協力を賜っておりますことに心からお礼を申し上げます。

この度、犬山警察署から事件・事故防止に向けた情報発信・情報共有のため「イヌピー通信」を発行しました。管内の治安情勢を見ますと、令和7年中、犯罪発生件数は700件を超え、交通死亡事故3件といずれも前年比を上回っているのが現状です。特に、オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺は、被害額が3億円を超えており、極めて憂慮すべき状況にあります。

こうした犯罪の抑止に向け、署員一丸となって犯罪の検挙などあらゆる警察活動を推進してまいります。「安心」して暮らせる「安全」な犬山市・扶桑町の実現には、警察だけの力だけで成し得るものではなく、皆様方には、ぜひ、犯罪の手口などの情報に接することで、自主的な防犯活動、交通ルールの遵守に努めていただきたいのであります。

最後に、犬山警察署は、昨年末開催された愛知県警察剣道・柔道大会におきまして、警察署の規模ごとに行われた団体戦でそれぞれ3位に入賞し、気力、体力も充実しており、皆様方の期待に応えられる署員ばかりです。私は、今月末で42年の警察人生を終えますが、署員の士気は上がっており、引き続き、皆様方とともに、犯罪の抑止、交通事故抑止に取り組んでまいりますので、これまで同様、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



犬山警察署長
みずの ひろゆき
水野 裕之



「イヌピー」ってなに??

「イヌピー」とは犬山警察署のマスコットキャラクターの名前で、名前の由来は犬山の「イヌ」とPoliceの頭文字の「ピー」を合わせ「イヌピー」と呼びます。

歴史ある犬山市にちなみ兜をイメージさせる帽子をかぶり、扶桑町特産の守口大根に似た刀を背負っています。

これからは、犬山警察署からのお便りをイヌピー通信として配信するのでぜひ読んでください。

SNSから始まる投資やもうけ話にご注意を!

SNS等で知り合った相手が著名人や投資家を装ったり恋愛感情を利用し信用させ、架空の投資話に誘導し、投資金や出金手数料名目で金銭をだまし取る詐欺を

SNS型投資・ロマンス詐欺

といい、被害額が

2億円超え

と犬山警察署管内において、特殊詐欺の被害額を上回り被害が急増しています。

被害に遭わないためには

SNSやマッチングアプリで知り合った人を安易に信用しない
※相手がどこの誰か分からず、架空の人物を演じている場合も

「必ず儲かる」「絶対に損をしない」は詐欺を疑おう
※儲けているように見えるサイトやアプリ自体が偽物の場合もあります

取引する業者が登録等を受けているか
金融庁Webサイトで確認!



あなたの自転車を泥棒から守るためのお願い

犬山警察署管内では、令和7年中**160件**超えと、多くの**自転車盗**被害が発生しています。
自転車盗被害の中でも**約8割**が無施錠による被害、無締まりの状態です。
特に被害者の**約6割**が学生(小・中・高・大学生)の被害となっています。
皆さんの大切な自転車を守るためにも確実に**施錠**をするよう心掛けましょう。



自転車を盗まれないための防犯対策

少しの間なら大丈夫」「どうせ盗まれることなんかないでしょ」と油断をし、カギをせずに自転車から離れていませんか？
自転車を盗まれないために、短時間でも必ずカギをしましょう。

自転車本体についているカギをしっかりかけている方、次にツーロック(二重)をして防犯力をアップしましょう。
U字ロックやワイヤー錠を活用し、泥棒に狙われにくくしましょう。



路上に駐輪はせず、防犯設備の整った駐輪場を利用し、路上に放置しないようにしましょう。



防犯カメラやセンサーライト等の防犯設備の整った駐輪場を利用する



自宅やアパート、マンション等でも必ずカギをかけましょう

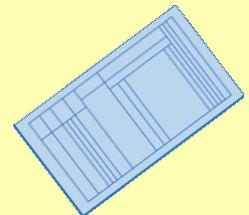


2026年4月1日から**自転車**の違反に

犬山警察署交通課
犬山交通安全協会

青切符 (交通反則通告制度)

が適用開始となります。



信号無視



反則金
6,000円

一時不停止



反則金
5,000円

携帯電話使用等(保持)



反則金
12,000円

- ◎対象となる違反行為は**100種類**以上
- ◎**16歳以上**の者による自転車の交通違反(反則行為)が対象
- ◎重大な違反(飲酒運転やあおり運転等)や、違反により交通事故を発生させた場合等は対象外(刑事手続きによって処理)
- ◎交通事故につながる恐れが高い違反や違反により交通の危険を生じさせたり、事故の危険性が高まった場合及び警察官の指導警告に従わず違反を行った場合などが反則切符(青切符)の対象